

第2号様式（第3関係）

平成23年度第2回豊山町生涯学習推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成23年12月20日（火）午前10時30分から
- 2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室4
- 3 出席者 豊山町生涯学習推進審議会委員
(役職及び氏名) 会長：岡田洋司
委員：山本達三、野村昌敏、渡辺博史、岡島 剛、石黒俊彦
宮沢洋子、岡島千衣子、安藤証一、高柳勝子、山村ノリ
事務局：松田康朗教育長、早川晴男教育部長、水野典昌課長、
佐藤正司係長、辛嶋洋充生涯学習指導員
- 4 議題 (1) 平成23年度生涯学習事業の進捗状況について
(2) その他
- 5 会議資料 ・平成23年度生涯学習事業の進捗状況について 資料NO.1
・平成23年度生涯学習学級講座受講状況について 別紙1
・文化振興事業パンフレット、生涯学習情報「生きがいタウン(後期)」
- 6 議事内容
(司 会) 本日は、お忙しい中、定刻までにご参集いただきありがとうございます。ただ今から第2回生涯学習推進審議会を開催します。議題に入ります前に、この審議会等の議事録はホームページに掲載することをご承知おきください。

—配布資料の確認—

それでは、最初に会長よりあいさつをいただきます。
(会 長) 今年も年末を迎え、3月の大震災、昨日の北朝鮮の問題などいろいろなことがありました。今の日本はいろいろな問題を抱えています。このままではうまくいかないことがあるのではと感じます。そこで、これからは持続可能な社会のために私たち一人一人が自分を高めていく、社会の担い手として力をつけていく必要があります。そこに、生涯学習は大きな意味を持ちます。生涯学習は上から教えられるものではなく、自分の意志で自ら学び高めていくものであり、よりよい社会の担い手にしていくものです。今日の会議において、今年の生涯学習がどのような形なの

か、来年度にどのようにつなげていけばよいのをご審議していただきますのでよろしくをお願いします。

(司 会) 次に、教育長よりあいさつを申し上げます。

(教育長) 今、岡田会長さんからお話しいただいたことに賛同いたします。豊山町では平成21年に町の総合計画、生涯学習基本計画が示され、ここまでは前半の中の前半にあたります。23年度末で2年が経過することで、生涯学習のあり方、行政のかかわり方を振り返る必要もあります。今の社会は、人々の考え方、世情、価値観、人生観が変化していきますので、生涯学習を見つめ直すことは大切です。本日は、具体的な講座状況などを提示し、十分やれていること、やれていないことを振り返り、反省すべきことにはお知恵をいただいて、これからどんな方向に進めばよいのかを考える会になればと思いますので、よろしくをお願いします。

(司 会) それでは、これより議題の審議に入ります。ここからの取り回しは会長をお願いします。

(会 長) 議案(1)「平成23年度生涯学習事業の進捗状況について」事務局より説明をお願いします。

～平成23年度生涯学習事業の進捗状況について～

資料により説明。

(会 長) 進捗状況を事務局より一括して説明していただきましたが、ご質問、ご意見をいただきたいと思います。

(委 員) 今年度のサロンコンサートは、バイオリン、フルート、ソプラノなど音が高いものに固定された傾向が見られますが、もう少し幅を広げるとよりよいものになると思います。どういう意図で依頼されているのでしょうか。

(事務局) 今年は高い音に偏ってしまいましたが、例年、ジャズ、バリトン、低い音の楽器の演奏も行ってきました。先回の審議会で、リクエストできるのかという質問がありましたことも踏まえ、いろいろな考え方で計画を立てていきます。

(会 長) 依頼先を大学院生や地域の楽団など範囲を広げると、コンサートの雰囲気も変わってくるのではと思います。ふれあいコンサートも含めて多方面から考えられたらと思います。

(委 員) 12月のコンサート中に震度3の地震がありました。上からぶら下がっているスピーカーなどは大丈夫でしょうか。どこに避難すればよいのでしょうか。

(事務局) あのとときは、中断もなく演奏しました。社会教育センターの施設はよほどの地震でも上から落ちてくることはなく大丈夫です。地震発生時の対応マニュアルも用意してありますが、地震のときは外に出ないで中にいることが安全です。危険なときは誘導するようになっています。

(会 長) 私も豊田市にいましたが、少し驚きました。催し物に対してのマニュアルと適切な対応は必要だと思います。

- (委員) 今年度の受講人数は、前期が243人、後期が86人とアンバランスという印象を受けましたが、どうでしょうか。
- (事務局) 豊寿大学や乳幼児学級など、後期も実施するものがカウントされていませんので、実質はそれほど差はないと思います。
- (委員) 今年度から保健センターとの共催となった乳幼児学級のことですが、話の内容が少し固かったのではと思いました。赤ちゃんに手がかかるのでなかなか集中して聞けない状況なので、赤ちゃんを世話しながらでも聞けるような身近なテーマや内容にしたらどうでしょうか。
- (事務局) 今年のテーマが「命」「絆」なので、少し固くなったかもしれません。今後、保健センターの担当者と調整して改善していきたいと思います。
- (会長) 前期は84人が受講していますので、後期の企画も工夫していただきたいと思います。情報誌「生きがいタウン」は秋のイメージかと思いますが、茶系が強くて少し暗いと感じました。
- (事務局) 来年度は明るい色も入れたいと思います。
- (委員) ミニソフトバレー教室の申し込み数が3人はさびしいですね。
- (事務局) 一般参加は3人ですが、各子ども会に案内を出していますので、増えるのではないかと思います。
- (委員) スポーツ系の参加状況は少子化のせいも全国的に減少傾向にありますが、サッカー関係は増加しているようです。そこで、フットサルなどを子どもだけでなく中高年も参加できるような形態にすれば、ある程度の参加が見込められるのではないのでしょうか。
- (事務局) 今年度は、震災の影響で節電が浸透したため、夜間のナイター利用が減りました。このことから、スポーツもトーンダウンしたのではと思います。
- (会長) いろいろなことがありましたが、スポーツ関係はおおよそ確保できたのではと思います。そのほかに、ご意見はありませんか。
- (委員) 受付時に実施している講座アンケートは、どんな内容ですか。
- (事務局) 年齢、性別、今までに参加しての感想、問題点、情報の入手方法などA4用紙で10項目程度を聞いています。
- (委員) どんな意見が書かれていましたか。
- (事務局) 講座に偏りがあるのでバリエーションを増やしてほしい、日曜日や勤務後の夜に実施してほしい、趣味的なものも行ってほしい、などの要望がありました。
- (会長) アンケートは生の声なので、大切にしてほしいと思います。趣味的な講座の予定はありますか。
- (事務局) ステンドグラス、パッチワーク、アレンジフラワーなどの要望がありました。今までも趣味的なものは行ってきまして、サークルとして自立してきたものもありますので、紹介するようにしています。また、新しいものは検討していきます。
- (委員) アンケートに応じた人の年齢、性別などの傾向は分かりますか。

- (事務局) 多いのは50代以上の女性で、少ないのは30代以下です。女性が85%で男性は15%しかありません。リピーターは約8割で、8割の人から満足という回答をいただいています。
- (会長) このことから生涯学習の課題が見えてきます。男性と若い人の参加をどれだけ拡大していくかは、どの自治体でも共通課題となっています。
- (委員) 講座受付時でのアンケートでは、初めて参加した人は記入できない項目があります。講座終了時に答えてもらうべきかと思います。
- (事務局) 講座によっては、終了時にアンケートを行っているものもありますが、検討していきます。
- (会長) 1～3月も講座がありますので、改善できるものはお願いします。
- (委員) 趣味的なものはサークルを紹介するとのことですが、新しく入ろうとしても、すでに参加している人たちの中に入るのは気後れします。あまり動けない70代以上でも手軽にできる趣味的な講座も考えてください。
- (委員) 講座状況を振り返るとき、どうしても参加人数に目がいきますが、自主的に運動している町民も多いと思います。公共施設での利用状況や夜間での学校の開放回数なども注視する必要があると思います。
- (会長) 事務局で利用状況はわかりますか。
- (事務局) 22年度の利用状況を報告します。4小中学校の運動場は756件、体育館は762件、柔剣道場は198件、テニスコートは38件でした。中学校のナイター利用は57日、豊山グラウンドの利用は、昼772件、夜187件でした。
- (委員) スポーツ施設等の管理については、社会教育審議会で審議されるのですね。
- (会長) ただ、生涯学習は、講座状況と施設利用状況を総合的に見る必要があります。そこで、参考とするため、本審議会でもふれられたらよいと思います。
- (委員) 私も他の町で社会体育に関わってきましたが、豊山町はかなり多くの方が参加していると思います。ただ、各世代のニーズを浸透することは難しく、町民の思いと実施状況とのギャップをどう埋めていくかは今後考えていかなければと思います。
- (委員) 若い人に参加してもらおうと自主的に5回ほどの講座を考えています。呼びかけたい場合は、どのような手順で行えばよいですか。
- (事務局) まず、サークルとして登録していただきます。情報誌「生きがいタウン」は4月発行ですので、3月初め申し込んでいただければ可能です。
- (会長) 他にご意見などありませんか。では、第1号議案「平成23年度生涯学習事業の進捗状況について」をご承認いただける方は拍手をお願いします。
- (拍手)
- (会長) 第1号議案「平成23年度生涯学習事業の進捗状況について」は全員の拍手で承認されました。

続きまして、「その他」ですが事務局から何かありますか。

- (事務局) 12月3日に行われました第6回愛知駅伝では、豊山町は町村の部で前年の19位から13位と6つ順位を上げ、モリコロ賞をいただきました。その模様はスターキャットで12月15日から放送されていますのでご覧ください。また、来年の3月11日にエアポートビューマラソンが開催されます。
- (委員) 今年のマラソンの中止連絡は不十分だった気がしますが、どのような連絡体制だったのでしょうか。
- (事務局) 前日に中止決定をし、3つの方法で行いました。まず、町の無線で流し、広報車で町内を回って呼びかけました。ただ、寒い時期で各家庭が、窓を閉めているせいか十分伝わらなかったかもしれません。そして、当日は神明公園に中止の張り紙を掲示しました。
- (委員) 鳴子踊りを教えたいという町外の人がいるのですが、どのような方法があるのでしょうか。
- (事務局) 学校では難しい面もありますが、ボランティアでもよいのであれば、ふれあいひろばのクラブに追加し、児童生徒に募集することができます。
- (委員) 役場や社会教育センターなどにペットボトルのキャップの回収箱がありますが、集めた結果がどうなったのかわかりません。広報などで公表してほしいと思います。
- (事務局) キャップの回収は豊山中学校生徒会が行っているもので、年に3回ほど学校新聞には結果を掲載し、それを社会教育センターなどには掲示してきました。今までに110万個を回収し、1200人分ぐらいのワクチンが贈られたそうです。どういう公表方法があるのか考えてみます。
- (教育長) 豊山中学校の生徒会は、自分たちがやれることを話し合っってボランティアなどに活発に活動しています。皆様も評価してあげてください。
- (会長) 公共施設に回収箱が設置していますから、地域全体への広報は必要かと思しますので、ご検討ください。ほかにご意見はありますか。
それでは、皆様のご協力により、熱心な論議と貴重なご意見をいただき実のある会議になりました。これで、本日の議題は全て終了します。お疲れ様でした。

上記のとおり平成23年度第2回豊山町生涯学習推進審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

平成24年1月5日

会長 岡田洋司

署名人 宮沢洋子